Press Release





2014年7月25日

株式会社 リクルート ライフスタイル

「全文館泊旅行調査 2014」



- 2013年度(2013年4月~2014年3月)の国内宿泊旅行実施率は、57.5%(前年度比1.7pt増)
- ●宿泊旅行での費用総額は、2010年度以降最大の約7.3兆円(前年度比5.5%増)で 市場が回復傾向

株式会社リクルートライフスタイル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村吉弘)に設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長:沢登次彦)は、この度、全国15,413人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん宿泊旅行調査2014」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2013年度(2013年4月~2014年3月)における国内での宿泊旅行の実態について、その行き先や回数、旅行費用などの調査をし、今年で10回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

<TOPICS>
※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

● 【宿泊旅行実施率・延べ宿泊数】

2013年度(2013年4月〜2014年3月) の宿泊旅行※1実施率は57.5%と、前年度より1.7pt増加。 1年間の旅行実施回数も前年度より0.13回増加し、全国の延べ宿泊数(人泊)は前年度比6.5%増の 約2億4,972万人泊と、2010年度以降では最大の数。

●【宿泊旅行にかけられた費用】

国内宿泊旅行にかけられた費用総額 (交通・宿泊・現地小遣いなど) は約7.3兆円で、前年度から5.5%の増加。

1回の宿泊旅行にかかった大人1人あたり費用は46,800円で、前年度より800円減少するも、旅行回数の増加が単価の下落を上回り、2010年度以降では最多額。

● 【同行形態】

「一人旅」は調査開始以来、9年連続増加し15.4%。

20~34歳男性では調査開始の2004年度に比べると11.2pt増加して、4回に1回以上(26.1%)が「一人旅」。

●【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】

多くの都道府県で宿泊旅行者数が増加。延べ宿泊旅行者数1位の東京都は1,720万人と2年連続の増加。

増加率では出雲大社の遷宮があった島根県(56.1%増)や、テレビ連続ドラマで話題の福島県(31.0%増)などで大きな伸び。

■ «テーマ別・都道府県魅力度ランキング»

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	高知県	2位	広島県	3位	北海道、香川県
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	北海道
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	熊本県
▶ 地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	青森県	3位	鹿児島県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	京都府	3位	沖縄県
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	青森県

· · · · · P9-10

· · · · P7-8

【本件に関するお問い合わせ先】 https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/



• • • • P4-5